

各位

会社名 アマノ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中島 泉
 (コード番号 6436 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 経営企画本部長 上野 亨
 (TEL. 045-439-1591)

平成27年3月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成26年5月8日及び平成26年10月24日に公表いたしました平成27年3月期通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績予想値と本日公表の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期通期業績予想値と実績値との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

<連結業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	110,000	9,100	9,700	5,500	71.81
今回実績(B)	109,837	9,357	10,189	6,794	88.71
増減額(B-A)	△163	257	489	1,294	—
増減率(%)	△0.1	2.8	5.0	23.5	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	102,131	8,826	9,423	5,299	69.19

<個別業績予想値と実績値との差異>

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	67,500	6,700	7,600	4,600	60.06
今回実績(B)	66,193	6,465	7,918	5,073	66.24
増減額(B-A)	△1,307	△235	318	473	—
増減率(%)	△1.9	△3.5	4.2	10.3	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	64,606	6,677	7,732	4,813	62.85

2. 差異の理由

個別業績については、売上高は環境システムを中心に増収となったものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動の影響もあり期初計画に対しては未達となりました。また、営業利益は当初想定していた人件費や試験研究費等の増加分を増収でカバーできずに減益となりましたが、主にグループ会社からの配当金が増加したことにより経常利益及び当期純利益については期初計画を上回ることとなりました。

連結業績については、主に北米が回復し、アジアが好調に推移したため、売上高はほぼ計画通りとなり、営業利益及び経常利益は計画を上回りました。また、欧州グループ会社売却に伴う特別利益の計上、北米グループ会社の業績回復に伴う繰延税金資産に係る評価性引当金の取り崩しにより、当期純利益については修正後計画を上回ることとなりました。

以 上